

3, 修学上の情報等

(1)教員組織、各教員が有する学位及び業績

①教員組織

※情報デザイン学部（仮称）設置準備室教員は含まない

■専任教員表

		専任教員数				設置基準上の 専任教員数
		教授	准教授	講師	計	
専任教員 内訳	男	15	15	0	15	11
	女	3	1	0	4	
合 計		18	1	0	19	

■専任教員年齢構成表

職位	31歳 ～35歳	36歳 ～40歳	41歳 ～45歳	46歳 ～50歳	51歳 ～55歳	56歳 ～60歳	61歳 ～65歳	66歳 ～70歳	71歳 以上	計
教 授	0	0	0	1	1	2	7	3	4	18
准教授	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
講 師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	1	1	1	2	7	3	4	19

■組織役割分担

要素	委員会名称
プロジェクト	認証評価プロジェクト
	博士課程設置準備プロジェクト
PDCA	将来計画推進委員会
	自己点検・評価委員会
運営	教務委員会
	演習委員会
	学生委員会
	キャリア支援委員会
	入試委員会
	広報委員会
	国際交流委員会
	図書委員会
	図書委員会 分科会 紀要委員会
	SD・FD委員会
	人権委員会
	個人情報保護委員会
	研究委員会
	研究倫理審査委員会
研究所	新潟地域活性化研究所運営委員会

②各教員が有する学位及び業績：

「専任教員紹介」 <http://www.jigyo.ac.jp/faculty/fulltime/>

(2)入学者に関する受入方針、入学者数、収容定員、在学者数、卒業(修了)者数、進学者数、就職者数、
税理士資格取得(科目免除)者数、起業家数

①入学者に関する受入方針

事業創造大学院大学では、独立したベンチャー企業の創業や組織内での新規事業の創造・経営などに明確な問題意識を持ち、確固たる目的意識を有する人材を受け入れます。そのため、社会人として職務経験を有する者の他、起業に対する熱意にあふれ成績優秀な現役学生も受け入れ対象としています。選抜にあたっては、経済や企業経営の分野に関する学力試験を行うほか、面接試験を通じて独立起業や組織内事業創造に対する熱意や適性を有する人材であるか否かを判断します。

事業創造大学院大学が主たる対象として想定するのは、次の5つのタイプの方々です。

- 1. 社会での豊かな経験を有しベンチャー企業の創業を志す人材
- 2. 企業・官公庁等から派遣され新規事業開発や組織変革を担う人材
- 3. 高い意欲と基礎学力を有し将来の起業を目標にした新卒者
- 4. 日本企業や日本に関連する国際的な新規事業への従事や起業を志す留学生
- 5. 事業承継者

②入学者数、収容定員、在学者数、卒業(修了)者数、進学者数、就職者数、
税理士資格取得(科目免除)者数、起業家数

	学期	人数	備考
入学者数	秋学期	27名	※2024年10月入学者
	春学期	77名	※2025年4月入学者
収容定員		180名	※一学年定員90名
在学者数	秋学期 (外国人留学生)	205名 (48名)	※2024年10月1日現在
	春学期 (外国人留学生)	211名 (55名)	※2025年5月1日現在
修了者数	2024年9月修了者 (外国人留学生)	28名 (18名)	修了日現在
	2025年3月修了者 (外国人留学生)	66名 (9名)	
進学者数 ／希望者数	2020年度修了者	1名／1名	2021年5月1日現在
	2021年度修了者	0名／0名	2022年5月1日現在
	2022年度修了者	0名／0名	2023年5月1日現在
	2023年度修了者	1名／1名	2024年5月1日現在
	2024年度修了者	0名／0名	2025年5月1日現在
就職者数 ／希望者数	2020年度修了者 (外国人留学生)	47名／64名 (19名／35名)	2021年5月1日現在
	2021年度修了者 (外国人留学生)	53名／81名 (22名／50名)	2022年5月1日現在
	2022年度修了者 (外国人留学生)	57名／71名 (18名／30名)	2023年5月1日現在
	2023年度修了者 (外国人留学生) (外国人留学生就職希望者のうち日本での就職)	68名／73名 (19名／23名) (14名／16名)	2024年5月1日現在
	2024年度修了者 (外国人留学生) (外国人留学生就職希望者のうち日本での就職)	85名／94名 (23名／28名) (22名／25名)	2025年5月1日現在

税理士資格 取得者数 (科目免除)	2020年度修了者	5名	
	2021年度修了者	1名	
	2022年度修了者	3名	
	2023年度修了者	4名	
	2024年度修了者	15名	
起業者数	2020年度修了者	2名	
	2021年度修了者	1名	
	2022年度修了者	2名	
	2023年度修了者	1名	
	2024年度修了者	2名	

(3)授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画(シラバス又は年間授業計画の概要)

①授業科目：

[「2025年度 事業創造大学院大学 事業創造研究科 開設授業科目」](#)

②シラバス：

[「2025年度シラバス」](#)

③スケジュール：

[「2025年度講義スケジュール」](#)

④時間割：

[「2025年度時間割」](#)

(4)学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準 (必修・選択・自由科目別の必要単位修得数及び取得可能学位)

①成績評価について、履修・修了要件について、取得可能学位について

I 成績評価について

A) 成績評価

成績評価は、2/3 以上の出席者を対象に科目毎に定められた基準により授業への参加度(貢献度等)、課題および試験結果等を総合的に判断し、次の評価基準で行います。

- | | | |
|------------|----------|-----------------------|
| (1) 秀 (A+) | 100点～90点 | 合格 |
| (2) 優 (A) | 89点～80点 | 合格 |
| (3) 良 (B) | 79点～70点 | 合格 |
| (4) 可 (C) | 69点～60点 | 合格 |
| (5) 不可 (F) | 59点以下 | 不合格 |
| (6) 認定(認定) | | 合格…他大学院等の単位を本学で認定した場合 |

B) 成績評価異議申立規程第2条に基づき異議を申し立てることができます。

II 履修、修了要件について

A) 演習について

(1) プレゼミナール (M1-1)

入学後、全新生の希望調査の結果を鑑み配属されます。自らのキャリアについて省察し、あてはまる人材像と修士論文の執筆タイプを明確にします。
成果として「プレゼミナール発表会」を行います。

(2) 演習Ⅰ（M1-2）

研究計画（プレゼミナール成果）をもとに希望するゼミへ本配属し、修士論文の執筆活動が本格化します。成果として事業企画、プロジェクト企画もしくは研究企画についての「演習Ⅰポスターセッション」を行います。

(3) 演習Ⅱ（M2-1）

事業企画・研究企画に基づいた事業行動・研究活動を開始します。
成果として「演習Ⅱ中間発表会」を行います。

(4) 演習Ⅱ（M2-2）

事業計画書・プロジェクト報告書・研究論文を執筆し、「学位論文最終公開審査会」を行います。

B) 修了要件について

(1) 2021年度・2022年度・2023年度・2024年度・2025年度

本研究科の修了に必要な単位数は、34単位以上です。内訳は以下の通りで、科目数も修了要件に含まれます。

科目	必修	選択	計
基礎科目	5科目 10単位	2科目 4単位以上	7科目 14単位以上
発展科目	—	5科目 10単位以上	5科目 10単位以上
基礎科目または 発展科目	—	上記に加え 4単位以上	4単位以上
演習Ⅰ 演習Ⅱ	2単位 4単位	— —	2単位 4単位

(2) 1年間に履修科目として登録できる単位数の上限は30単位とします。

Ⅲ取得可能学位について

A) 取得可能学位について

2年以上在籍し上記の成績評価に基づき所定の単位を取得するとともに、実行性のある事業計画書等、専門職成果報告書作成して審査で合格した者に対し経営管理修士（専門職）の学位が与えられる。

②修了要件・授業科目（入学年度別）

[「2025年度生用」](#)

[「2024年度・2023年度生用」](#)

[「2022年度生用」](#)

[「2021年度生用」](#)

(5)学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

①オフィスアワー

- ・教員に学習上の疑問等について直接教員に質問、議論することができます。
個別に教員に申し込んでください。

②教務委員会

- ・学習面の相談に応じます。直接相談を受ける他、相談内容に応じて適切な相談者を紹介いたします。

③学生委員会

- ・生活面等の相談に応じます。直接相談を受ける他、相談内容に応じて適切な相談者を紹介いたします。

④ 人権委員会

- ・種々のハラスメント防止について対応・協議するとともに、相談窓口を設けています。
- ・リーフレット「ハラスメントのないキャンパスを」をホームページおよび学内サイトに掲載して周知しています。

<http://www.jigyo.ac.jp/about/harassment/>

⑤ キャリア支援委員会

- ・就職に関する支援と指導を行います。

⑥ 健康診断の実施

- ・本学では年1回健康診断を実施しています。ただし、勤務先等で受診している場合はそれによって代用も可能としております。

(6)教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

「学生が修得すべき知識及び能力に関する情報」

<http://www.jigyo.ac.jp/strength/seminar/>